



管理PCから稼働状況や記録動画を確認可能 IDカードで認証して記録開始



ヘルメットに取り付けたドライブレコーダー



稼働状況のデータを取得する車載端末

作業状況の数値評価や動画を有効活用！ 物流を支える人材の育成と 安全性向上に手応えあり

今回、フォークリフト稼働管理システムLVSを有効活用されているユニットリーダーの甲斐さまとセンター長の佐藤さまにお話を伺いました。

フォークリフト稼働管理システムLVS

DESIGN 1

西関東広域へ加工食品を
出荷する基幹センター



三菱食品株式会社
首都圏FLDCさま

所在地 神奈川県厚木市飯山字里見2385-8

三菱食品は東京都に本社を置き、「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」を掲げて、国内外の加工食品、低温食品、酒類、菓子などを総合的に展開する大手食品商社。首都圏FLDCは、加工食品をメインに小分け作業の機能を有しているのが特徴。配送の対象は西関東エリア一帯で、スーパーなど小売店を中心に約1,000店舗へサービスを行う、三菱食品の基幹センターとしての役割を担う。ロボットアーム、デジタルピッキングシステムなど機械化を進め、労働人口減少への対応並びに安全性と労働環境の向上を積極的に推進している。

LVSによる主な取得データ

- ・フォークリフト別稼働状況
- ・運転者別稼働状況
- ・フォークリフト別日報月報
- ・運転者別日報月報
- ・危険操作状況
- ・バッテリー状況

庫内業務協力会社 キャリテック社
所長の稲田さまと
現場オペレーターの中里さまが証言!

ココに満足!

当センターでは、LVS付プラットフォームは6台稼働。LVSが搭載されていることで、オペレーターの安全意識が大幅に高まっていることを実感しています。特に有効なのは月に1回のLVS検証会です。三菱ロジスネクストさんが提出してくれる月間安全レポートには個々の運転のクセなど細かい情報が載っており、また記録動画を確認しながら、一人一人に応じた具体的な指導のできるのが最大のメリットです。稲田さまと月間安全レポートで現場の状況を確認



稲田さまと月間安全レポートで現場の状況を確認

LVS検証会には私たちオペレーターも参加。1か月に起こった事例をみんなで共有し、安全確保につなげています。特に録画機能は、車のドライブレコーダー同様に、作業の瞬間に何がどのように起こったのかわかるのがとてもいいですね。新人であっても具体的に作業で気を付けるべきところが理解できますし、オペレーター自身を守ってくれるものだと思います。

- 営業担当** ロジスネクスト株式会社 営業部 ソリューション営業課 広域営業チーム 課長代理 **さだ ありひろ 澤田 有弘**
- 営業担当** ロジスネクスト株式会社 神奈川支社 湘南支店 営業課 課長 **たかし まさき 高城 正樹**
- 技術担当** 三菱ロジスネクスト株式会社 国内営業本部 特販部 DX営業推進課 主任 **おくむら よしひで 奥村 嘉英**



CLICK

情報共有と 個々に応じた指導 その両方を実現

お話を伺った方

物流オペレーション本部
運営管理第一グループ
センター管理Aユニット
首都圏FLDCセンター長
さとう よしのり
佐藤 厳憲さま

持続可能なより良い物流センターの実現を支えるのは従業員であり、私たちには従業員が安心して働ける安全性の高い職場環境を提供する義務があります。この意味で、私自身はこれまでの安全対策や集団でのオペレーター教育をもう少し有意義なものにできないかと考えてきました。その思いを叶えてくれたのがLVSです。オペレーター個々の運転技量が数値化され、ドライブレコーダーにも録画されて、それらを共有し活用した教育や育成ができるのが大きいですね。オペレーターに自分事として響きますし、効果が即効性のあることを実感しています。毎日動き、待たなしの現場で、大変有効な機能と考えます。

三菱ロジスネクストさんには、今後も技術の向上を目指していただき、物流センターで働く人が働き甲斐を感じながら安全な現場環境が構築できるよう、アドバイスや支援をぜひお願いしたいと思っています。

首都圏FLDCでは積極的に機械化を推進していますが、各作業においては「ヒトの力」あってこそ成り立つ部分の大きいことはいくらでもありません。だからこそ、スタッフを育てる習熟度を高めてもらい、より良い環境を構築することは大変重要です。一方で、物流業界では物流波動や取り扱い商品の変化などへの対応が問われることから、タイムリーな評価・改善の難しさを痛感していました。特にフォークリフトの作業は「専門性が問われる」も「客観的な技能計測が困難」であり、いかにして育成や作業改善につなげるかが長年の課題でした。これらの課題に対し三菱ロジスネクストさんから紹介されたのがLVSでした。フォークリフトの実働率や基本操作率などいくつかの数値評価、ドライブレコーダーによる視覚化情報が得られます。客観的かつ具体的な事実に基づいて人材育成や現場環境の整備につなげられること、そしてオペレーターとの双方方向での議論が可能になったことは大きなメリットだと感じています。

客観的かつ具体的な 事実に基づく評価や 安全対策が可能に

お話を伺った方

物流オペレーション本部
運営管理第一グループ
センター管理Aユニットリーダー
かい ゆうさく
甲斐 友策さま